

各班の検討内容

整備案に対する道路の整備パターン（通行形態、速度抑制手法）と整備イメージ（舗装の種類・色、照明など）について各班の主な意見を紹介します。

1 班	<p>整備パターン</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備案で概ね良い <p>整備イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> 車道部分灰色、照明は和風が良い 舗装は自然石も良いと思う 路肩のブロックはガタツキがなければ良い 	2 班	<p>整備パターン</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備案は歩行者が優先になっていない 走りやすい道になっているため障害物があつた方がいい 縁石（3cm程度）が設置できないか <p>整備イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> 車道部分灰色、黄土色が良い
3 班	<p>整備パターン</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備案で概ね良い 歩行者の安全が心配 車がすれちがう時、柱がなくなると家や店に激突しないか心配 <p>整備イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> 車道部分黄土色、照明は和風が良い 	4 班	<p>整備パターン</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備案で概ね良い 30km/h規制が伝わるようにしてほしい <p>整備イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> 車道部分灰色、照明は和風に賛成。 側溝は手入れできるようにしてほしい 問題なく排水されるようにしてほしい

今後のスケジュール

今後は以下に示したスケジュールで検討を進めていきます。

	主な検討内容	
ワークショップ 第1回 8/6（土）	～これまでのまちづくりの検討内容と地域課題～ ・これまでの検討の経緯について、まちづくりの課題と将来像の共有 ・西国街道・本町地区街なみ環境整備事業整備方針について	済
ワークショップ 第2回 9/22（木）	～将来像実現に向けた道路のあり方の検討～ ・実験前の交通実態調査結果について ・道路整備のパターン、整備イメージの検討	済
10月中旬	アンケート調査	済
ワークショップ 第3回 11/25（金）	～実験テーマ決定・実験内容検証のための調査内容の確認～ ・道路形態及び整備のイメージ化（3Dモデルの活用） ・社会実験の内容検討、まちづくりに関するアイデアの検討、調査内容の確認	済
住民説明会 12月	～社会実験内容の地域共有～ ・社会実験の必要性、内容について地域の方へ事前説明	中止
1月下旬	社会実験実施・アンケート調査	
ワークショップ 第4回 2～3月	～とりまとめ案の提案～ ・道路の整備パターン、整備イメージ案のとりまとめ	
住民説明会 3～4月	～整備計画の地域共有～ ・整備計画（CIMモデル）、整備スケジュールの説明	

問い合わせ・連絡先

〒723-8601 三原市港町三丁目5番1号
三原市 都市部 都市開発課 担当：宮岡、柳光（りゅうこう）
電話：(0848) 67-6113 F A X：(0848) 64-6057
E-mail：toshikaihatsu@city.mihara.hiroshima.jp

道路整備に関わるご意見等も、お寄せください

西国街道・本町地区 まちなみづくり通信 第12号

『本町通りと宗光寺小路のあり方検討ワークショップ』

令和5年1月 発行：三原市都市部都市開発課

第3回ワークショップを開催しました。

本町通りや宗光寺小路等の道路等の施設整備に取り組むため、11月25日（金）に3回目のワークショップ（全4回を予定）を開催しました。

今回のワークショップでは、10月に実施した道路整備に関するアンケート調査の報告やこれまでのWSやアンケート結果を踏まえた整備案を提示し、4つの班に分かれて道路整備に関する意見交換を行いました。今回はその様子をご報告します。

この意見交換の結果を踏まえ、第4回ワークショップでは道路の整備パターンやデザインの絞り込みを行います。

社会実験と社会実験に伴う住民説明会は中止します。

事務局ではこれまでの検討結果を踏まえ、通学時の安全性向上のために、通学時間帯の時間一方通行に関する社会実験の実施を検討していました。これについて三原警察署に協議したところ、10月に実施したアンケートでは一方通行を望む声が少ないこと、また、本町通りに接続する路線の交通量への影響が大きいことから一方通行の社会実験は認められないとの回答がありました。そのため、社会実験に関する住民説明会（12月）及び社会実験・アンケート調査（R5. 1月）は実施しないこととしました。

第3回 ワークショップのプログラム

日時 令和4年11月25日（金）18:30～20:30
会場 サン・シープラザ 4階 第3研修室
参加者 住民・関係団体の皆さん19人、三原市4人、進行役5人

イントロ

1. 主催者あいさつ（三原市）
2. ワークショップの目的、全体スケジュール
3. 本日の進め方の説明

第2回ワークショップとアンケート調査結果の確認

1. 第2回ワークショップの検討結果の確認
2. アンケート調査結果の確認（10月実施分）

道路の整備パターン、イメージの検討

整備案を提示して意見交換を実施
→道路の整備パターン（整備案）について
→道路の整備イメージ（色、照明など）について

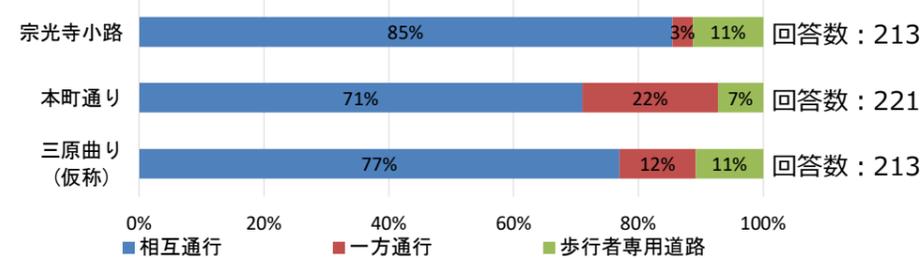


アンケート調査結果の確認（10月実施分）

10月に本町地区の住民、事業者のみなさまを対象に実施した、道路の整備に関するアンケート調査の結果報告を行いました。ここではその結果をとりまとめた内容を提示します。

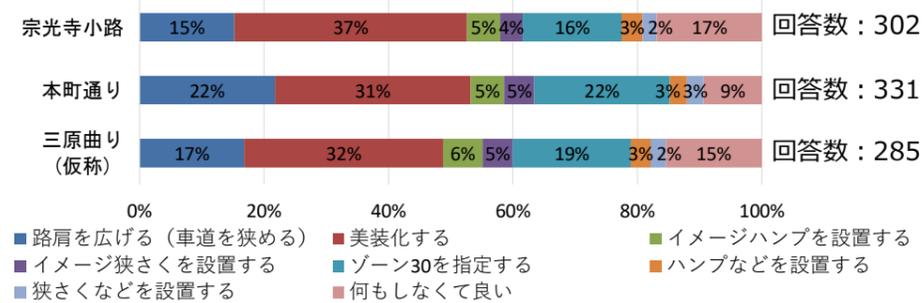
調査目的：本町通りと宗光寺小路の道路の整備について地域のみなさまのご意見をうかがうため
 調査対象：本町地区の住民、事業者のみなさま
 （本町一丁目、本町二丁目、本町三丁目、駒ヶ原町）
 調査期間：令和4年10月17日（月）から順次発送し10月28日（金）まで
 （11月2日到着分まで）
 配布数：593部（全戸）
 回収数：232部【回収率：約39%】

車両の通行形態



- 車両の通行形態について、各路線とも「相互通行」が最も多く、本町通り、三原曲り（仮称）では7割以上を占めており、宗光寺小路では、8割以上となった。
- 本町通りでは、「一方通行」とする回答が2割程度であった。

速度抑制手法



- 速度抑制手法について、各路線とも「美化化する」が3割以上と最も多く、次いで「ゾーン30を指定する」、「路肩を広げる（車道を狭める）」の順となっており、視覚的に訴える速度抑制を手法が多く選択されている。
- 速度抑制のためにハンプや狭さくを設置する手法を回答されている割合は各路線とも少ない。

舗装の種類・色、照明について

- 舗装の種類について、各路線とも「落ち着いた色にした舗装」が5割以上と最も多くなった。次いで、「アスファルト舗装（現状と同じ）」とする回答が3割程度であった。
- 舗装の色について、各路線とも「落ちついた色」が8割以上を占めた。
- 道路照明について各路線とも「和風のもの」が5割程度で最も多くなった。次いで、「目立たないもの」で3割程度となった。

アンケート調査の結果の詳細は、三原市 HP に掲載しております
<https://www.city.mihara.hiroshima.jp/soshiki/31/147654.html>



整備案

これまでのワークショップの意見とアンケート調査の結果から、1～4の内容で整備案のイメージを作成しました。

- 1 車両の通行形態………相互通行
 - 2 速度抑制手法………美化化，ゾーン30，路肩を広げる（車道を狭める）
 - 3 舗装の種類・色・照明……落ち着いた色にした舗装，和風の照明
 - 4 照明，電柱・電線類の集約，地中化
- ワークショップでは次の整備案のイメージを元に賛成意見や懸念すべきことなどについて意見交換をしました。

整備案（舗装の色 灰色，照明 和風）

宗光寺小路



本町通り



三原曲り（仮称）



その他の整備例

（舗装の色 黒）



（舗装の色 黄土色）



その他の整備例（照明 目立たないもの）



※ゾーン30は、区域が始まる箇所に表示されるため、案の部分に表示されるわけではありません。
 ※いずれも整備案として確定したものではありません。